

特集

ファイターズも好調!

変貌する北広島の 近未来予想図



▲エスコンフィールドは連日賑わっている

北海道日本ハムファイターズの新球場エスコンフィールド北海道が2年目を迎え、北広島市の変貌が加速度的に進んでいる。

Fビレッジ内のスタジアム周辺だけでなくJR北広島駅西口の複合商業ビル建設も進む。道央自動車道の輪厚パークエリアそばでは北広島初のワイン用ブドウの本格栽培も進みワイナリーへの夢が膨らむ。

ボールパークのまち北広島の未来予想図を関係者の声を交えて紹介する。
(ジャーナリスト・黒田 伸)



開発が進む北広島駅西口▶

西口エリア活性化進む

JR北広島駅西口を出てFビレッジへのシャトルバスが発着する停留所横では14階建ての巨大なビル建設が進み、クレーンが天高くそびえている。

複合商業ビル「トナリエ北広島」の建設は冬の間に続き、官民一体となった「西口周辺

エリア活性化事業」の第1弾プロジェクトが最終段階に入っている。

開業は2025年春を目指し、1階は地元で採れる野菜などを販売するマルシェなどがあり、2階は食の広場「キタヒロ・フードホール横丁」が誕生する。3階には美容サロン

やクリニックが入り、4階から14階には158室のホテルにレストランやフィットネスジムの出店が予定されている。

マンションやテナント募集の説明会には多くの人たちが訪れ関心の高さを示した。

「トナリエ北広島」から道道をはさんで西側に歩行者デッキをつながらのが約190世帯の高層マンション「レ・ジェイド北海道北広島」だ。

3月30日に開かれた1回目の説明会には販売価格を明らかにできなかったにも関わらず、札幌や首都圏から投資目的に購入しようとする人も訪れ、「ファイターズのホームタウンに住みたい」という新

しいニーズが広がっていることをうかがわせた。

これらはスタジアムの命名権を得た日本エスコンが独占開発している、北広島市も市有地の提供などの優遇策で後押しする。2026年9月の竣工予定

好評「シェアサイクル」

駅西口からFビレッジまでは現在、日中に30分おきにシャトルバスが発着し、道路の混雑がなければ5分から10分ほどで到着する。

徒歩では30分近くかかるためバスや自動車に代わって需要が見込まれるのが自転車での移動だ。

5月1日、北広島駅西口やエスコンフィ

だ。「駅西口はこれまで数棟の雑居ビルしか建っておらず、魅力的な店舗が少なかったのが北広島の顔となる新しいランドマークになるはず。オープンが待ち遠しい」と40代の女性は語る。

「東部のIT企業「Open Street」が提供するサービス「HELLO CYCLING」だ。

全国に自転車を置くステーションが約80



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)